

**H59 「実験計画法の基礎～実務に役立つ統計学～」レポート
修正点のお知らせ**

JTEX (訓) 日本技能教育開発センター
企画開発グループ
TEL 03-3235-8682

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、当センターの通信教育講座をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、今回ご受講いただきました「実験計画法の基礎～実務に役立つ統計学～」(2020年6月1日発行 第1版)2ヶ月目レポートにおいて、下記のような修正点が見つかりました。このうち、下記1. また3. については、ミスプリントにより解を導けなくなっているため、ミスプリントとなっている問題用紙の解答は、内容にかかわらず採点上は正解として計算させていただきます。

つきましては、お手数をおかけしてしまい大変恐縮ですが、2. の3元表に関して当該箇所修正を施した上でお使いいただきますよう、お願い申し上げます。

当方の誤りで、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

謹言

記

1. 2ヶ月目レポート2ページ目 課題2(3)1行目

(誤) 各2水準の計画を考えた場合の実験回数は(4)回となり、(中略)(5)回
→(正) 各3水準の計画を考えた場合の実験回数は(4)回となり、(中略)(5)回

2. 2ヶ月目レポート5ページ目 ABC三元表

(正) B→C、C→B

手順2：平方和を計算するためのABC三元表や各二元表を作成した。

		B_1	B_2	B_3
A_1	C_1	$T_{A_1B_1C_1}=30.7$ $\bar{x}_{A_1B_1C_1}=15.35$	$T_{A_1B_2C_1}=39.0$ $\bar{x}_{A_1B_2C_1}=19.50$	$T_{A_1B_3C_1}=48.2$ $\bar{x}_{A_1B_3C_1}=24.10$
	C_2	$T_{A_1B_1C_2}=42.3$ $\bar{x}_{A_1B_1C_2}=21.15$	$T_{A_1B_2C_2}=38.6$ $\bar{x}_{A_1B_2C_2}=19.30$	$T_{A_1B_3C_2}=43.0$ $\bar{x}_{A_1B_3C_2}=21.50$
A_2	C_1	$T_{A_2B_1C_1}=44.8$ $\bar{x}_{A_2B_1C_1}=22.40$	$T_{A_2B_2C_1}=42.4$ $\bar{x}_{A_2B_2C_1}=21.20$	$T_{A_2B_3C_1}=42.4$ $\bar{x}_{A_2B_3C_1}=21.20$
	C_2	$T_{A_2B_1C_2}=47.0$ $\bar{x}_{A_2B_1C_2}=23.50$	$T_{A_2B_2C_2}=42.2$ $\bar{x}_{A_2B_2C_2}=21.10$	$T_{A_2B_3C_2}=49.4$ $\bar{x}_{A_2B_3C_2}=24.70$
A_3	C_1	$T_{A_3B_1C_1}=31.3$ $\bar{x}_{A_3B_1C_1}=15.65$	$T_{A_3B_2C_1}=30.8$ $\bar{x}_{A_3B_2C_1}=15.40$	$T_{A_3B_3C_1}=36.3$ $\bar{x}_{A_3B_3C_1}=18.15$
	C_2	$T_{A_3B_1C_2}=42.1$ $\bar{x}_{A_3B_1C_2}=21.05$	$T_{A_3B_2C_2}=45.2$ $\bar{x}_{A_3B_2C_2}=22.60$	$T_{A_3B_3C_2}=45.9$ $\bar{x}_{A_3B_3C_2}=22.95$

(裏面へ続く)

3. 2ヶ月目レポート8ページ目 課題4(5)8行目

(誤) 交互作用 $A \times B$ は有意水準(⑤)といえる。

→(正) 交互作用 $A \times C$ は有意水準(⑤)といえる。

以上
(2008)